



冬の八幡平

冬季における労働安全の確保について

12月1日から冬期事業が開始されましたが、当署では、平成23年度「冬期事業労働災害防止対策強化期間」を設定し、労働安全確保対策の一層の強化を図ることとしています。

今年度の「冬期事業労働災害防止対策強化期間」については、請負事業体における労働災害が多発していることから、請負事業体について安全管理者等による特別点検を実施するなど、これまで無かった取組みを行い、署が一丸となり、直営事業、請負事業共に、労働災害、特に重大災害の撲滅を期することとしています。特に、冬期事業では寒冷や積雪等の悪条件が重なり、作業環境や交通事情が一段と厳しくなることから、より一層しっかりとした安全管理体制を確立し、労働安全対策の一層の強化を図っていただくようお願いするとともに、「労働災害は絶対起こさない」という決意で基本動作の徹底等をお願いします。また、東北局管内における交通事故も多発し、その内公務災害が1件となっており、特に、接触・追突等の事故が多いことから、防衛運転を心がけていただくとともに、今後多くなる凍結路面などにおいては、カーブ手前や下り坂等での減速に加え、いつも以上に車間距離を確保するなど、路面状態に合った適切な運転に努めてください。毎日の安全作業の積み重ねが冬期事業期間の無災害へとつながりますので、日々の健康管理と合わせ、着実な安全諸活動への取組みをお願いします。

平成 24 年度「国有林モニター」の募集

東北森林管理局は国有林の管理・経営に皆さまの声を役立てていくため、モニターを募集しています

募集人員◎数十人程度

募集期間◎平成24年1月4日（水）～31日（火）〔当日消印有効〕

任 期◎2年間(平成24年4月～平成26年3月)

内 容◎アンケートへの回答

現地見学会・国有林モニター会議への出席

応募資格、応募方法など、詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ先

東北森林管理局 国有林モニター係

TEL：018（836）2274 FAX：018（836）2031

注 意
喚 起

寒い日が続いています。健康に留意しましょう
道路が凍結しています。安全運転を心がけましょう



森林整備協定を締結

平成23年11月10日(木)八幡平市役所において八幡平市・浄安森林組合・岩手北部森林管理署の3者で「八幡平市田沢地域森林整備協定」を締結しました。協定箇所は八幡平市田沢地域にある矢神嶽国有林51.58haと八幡平市有林15.00ha民有林(浄安森林組合)13.47haの80.05haとなっており、協定期間は平成23年11月10日から平成26年3月31日までとなっています。本協定は協定者が連携して、国有林と市有林に及び民有林にわたる効率的な作業路網の開設や間伐等の森林整備に取り組む森林共同施業団地を設定し、森林の持つ多面的機能の高度な発揮を促すとともに、



締結後の握手の様子

低コストによる森林資源の搬出・利用等の促進により、地域における森林・林業の活性化に資することを目的としています。協定書調印式には、田村八幡平市長・畠山浄安森林組合長・野籐岩手北部森林管理署長が出席し協定書に署名した後固く握手を交わしその後の挨拶では、森林共同施業団地締結による間伐等の効率化・路網整備の推進・コストの削減等のメリットが紹介されました。今後も連携を強化しながら協定に示された計画を今後どのように効果的に実行していくかが必要と考えられています。

「あっぴ高原遊々の森」でボランティアが参加し環境整備

平成23年10月27日(木)、八幡平市安比岳国有林内にある「あっぴ高原遊々の森」でボランティア、八幡平市、森林管理署等52名が参加し雑木・雑草等の除去を目的とした環境整備と、今後の活用方法についての意見交換会を開催しました。午後の意見交換会では、「参加者が固定化しているのでP・R方法を工夫した方がよい」「多くの団体が参加しているので、地元の協力体制をもっと強固にする必要がある」等「遊々の森」を整備するために活動協議会の状況や課題が活発に話し合われ、今後の整備方針や方向付けについて示し有意義な意見交換会となりました。「あっぴ高原遊々の森」は、八幡平市と森林環境教育や体験活動等が円滑に実施されることを目的として平成18年6月に協定締結したもので、平成23年6月に協定を更新しています。



環境整備の様子

民・国連携した現地検討会を開催

平成23年10月18日(火)馬淵川上流流域森林・林業活性化センター主催の間伐現地検討会が八幡平山国有林16い林小班内で開催されました。当日は前日の雨も上がり少し肌寒い中ではありましたが関係業界から20名と八幡平市・二戸農林振興センター・署を合わせ42名の参加となりました。二戸農林振興センターと森林管理署が交互に事務局をし



現地検討会の様子

ながら開催しているもので、今年度は森林管理署が担当し、「効果的な森林作業道の作設」「高性能林業機械の有効活用によるコストの削減」「有利採材・仕分けによる販売」「補助金制度」をテーマとしました。センターの担当官から補助金制度の説明の後意見交換を開催し、参加者からは林業をとりまく厳しい状況にどう対処するのか等の意見が出されました。民・国が参加した現地検討会の開催は、林業に対する共通の認識や交流を深めるためにも有意義であり今後継続して開催したいと考えています。

お世話になります

次長 葛西 貴仁さん

昨年8月、局経理課より当署へ転任以来、皆様にいろいろとご迷惑をお掛けしながら、早いもので5ヶ月が過ぎました。この間、職員皆さんの行動力、結束力を目の当たりにし、乗り遅れないようについていくのに必死で、なかなかお役に立てていなかったことを反省しております。新しい年を迎え、今後は、皆さんがスムーズに業務を行える環境づくりのために、また、当署の目標である「地域にあってよかったと思われる森林管理署」の達成のため、各係間の情報等の共有を図り、コスト意識をしっかりと持った中で、署が一体となった業務運営ができるように頑張りたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

1月日程

- 4日 御用始
- 19日 森林共同施業団地協定調印式
- 26日 「安比高原ふるさと倶楽部」
設立準備総会
- 30日 安全衛生委員会



アカマツ・クロマツ・ハイマツ・ キタゴヨウマツ (マツ科)

技術専門官 松尾 亨

年始めのお話しに、お正月玄関先で活躍するマツ科マツ属の中から岩手で見かける4種類を紹介します。門松(松飾り)を玄関に飾る風習は、木の梢に神が宿ると考え「年神を家に迎え入れるための依り代」との意味からで、平安時代が始まりだそうです。さて、マツには二葉と五葉の2つのタイプがありますが、よく見かけるアカマツ・クロマツが二葉です。見分け方は、新芽の色が赤茶色で葉先が柔らかいのがアカマツで、別名雌松と言われます。一方、新芽が白く葉先が尖って堅い方がクロマツで雄松とも言われ



アカマツ新芽



クロマツ新芽

成長すると種皮の色でもわかります。五葉のハイマツは、高山帯に這うように生えることが由来ですがマツの種子としては珍しく、種に翼がなくホシガラスなどの鳥に散布してもらいます。キタゴヨウマツは、尾根筋の岩場に生え、30m以上の大木になります。この種子には大きな翼があります。マツの名前の由来はいくつかありますが、昔から待ち合わせの場所したことから「待つ」または、開花から結実まで2年かかることから「待つ」などの説があります。これらマツ属の仲間は、他の樹木が生育しにくい岩場や高山帯、海岸線など過酷な条件下でがんばっています。風雪に耐えた老松の美しさは、しっかりとした根の太さがあること、ことしは私も根を太くしたいものと考えた年明けでした。 2011.1「みどりの東北」掲載

冬を華やかに フラワーリース

松尾森林事務所 林下 喬士

森林管理署の階段ギャラリーに12月から展示している作品は、松尾森林事務所の佐々木三枝子さんの作品です。フラワーリースは、1本のリースに10~20種類程の、花



作品：クリスマス

や木の枝を組み合わせて作ります。本を見ながら独学でやって3年目ですが、出来映えはまだですと、謙遜する佐々木さんでしたが、作品を見ていただければ素晴らしい芸術作品です。黄色を基調に、ひまわりやケイトウ・スターチスを大胆に使いヤマブドウで仕上げた作品は「夏」を、茶系でまとめ、メタセコイヤやアカマツの球果に、落ち葉をアレンジした「秋」など素材の個性を引き出した作品が7点展示されています。

来庁された方からは、年末年始の慌ただしさのなかにも、ちょっとした「華やかさと、楽しい気持ち」にさせてもらいましたと、好評のようです。



秋



華やぎ



高原

管内のスキー場オープン

管理係長 増田 悠介

安比・奥中山・下倉・八幡平リゾートの管内4スキー場も、クリスマスを前に待望の雪に恵まれどうぞやらー安心。パウダー・深雪・こぶ・と、バリエーションに飛んだコースで楽しめ、今年は、各スキー場ともスイーツやイタリアンなどランチにも趣向を凝らし楽しめそうです。ぜひ皆様もご家族やご友人をお誘いのうえ、楽しんでいただき貸付地の収益アップへご協力を願っております。



健康コラム

体に優しいお酒の飲み方・・・自分の適量を守って楽しく！・・・

「酒は百薬の長」と言われるように、昔から適量の飲酒が健康に良いことは知られています。お酒を飲むと楽しい気分になり、コミュニケーションが進んだり、ストレスが解消されるなどプラス面がたくさんありますが、これらはあくまで適量を守ったときの話。お酒を健康的に楽しむために、飲むなら次の事を守りましょう。

- ・ 適量を守ってマイペースで飲み、早めに切り上げよう
- ・ 週に2日はお酒を飲まない休肝日をつくり定期健診をかかさずに
- ・ つまみは栄養バランスを考えエネルギーオーバーにならないように
- ・ 強いお酒は水か氷で薄めて
- ・ 飲んだ後は水分補給を忘れずに

